

登録コード	ASJ03693	開講年度	2026				
授業科目	特別研究				担当教員	近藤 文哉	
英文授業名	Graduate Research				副担当		
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				⇔	フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学に関する専門的な知識と実験・解析技術を身につけ、これらに基づく学術研究・修士論文執筆を遂行する。	
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				⇔	フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学に関する世界的な研究動向・最新技術を理解し、国際的に通用する新規性に富んだ研究を遂行する。	
授業の概要	フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学に関する高度かつ専門的な知識と実験・解析技術を身につけ、これらに基づく学術的新規性とインパクトに富んだ研究を遂行する。						
Contents:	・ Obtain specific knowledge and skills regarding bioinformatics, molecular genetics, horticulture and breeding science, responsible for core subjects of the field data science ・ Implement academic research based on the field data science, including a lot of novelty						
授業計画	本授業では主に以下3点の内容に沿った学術研究を行い修士論文としてまとめる。 1. 膨大なフェノタイプおよびジェノタイプデータに基づく農学的新規現象の発見 2. 膨大なフェノタイプおよびジェノタイプデータに基づく未解決農学現象の解明 3. 膨大なフェノタイプおよびジェノタイプデータに基づく今後の農業生産・開発に資する新規技術の開発						
成績評価の方法	最終的に提出された修士論文において実施された研究内容とその成果に基づいて評価します。						
成績評価の基準	実験・解析量の充実性とそれらに裏付けられる結果・考察の妥当性はもちろんのこと、日々の研究への主体性も加味します。						
事前事後学習の内容	自身の実験・解析に関する理解・情報収集を積極的行なってください。						
履修上の注意	国際的に通用する学術研究の遂行を目指しており、関連分野の世界的な研究動向の把握、最新技術を理解する必要があるため、外国語文献に基づく情報収集ができるようにしておいてください。修士課程在学中に少なくとも一回は国内学会で研究成果を発表できるように研究を進めていきます。研究成果は学術論文として発表できるクオリティを目指し、在学中に筆頭著者として執筆することも大歓迎です。						
質問,相談への対応	研究室 (C412) で直接対応します。不在の場合はfkondo@shinshu-u.ac.jpまでメールをください。						
学生へのメッセージ	本授業の研究では植物の栽培、分子遺伝学実験、インフォマティクス解析といった幅広い実験・解析内容を取り扱うため、様々な知識・スキルを身につける必要があります。難解な解析や時間の係る実験もあり、これらを論文としてまとめることは簡単ではありませんが、これらを乗り越えることで最後には学术界・産業界を問わず活躍できるような人材になれると信じています。教員側も全力でサポートしますので楽しく充実した研究を行いましょう。						
【教科書】							
【参考書】							